

特集

1 「しくみ」で積み上げ、 質を高める幼保小接続

2 インタビュー

子どもを真ん中にして「架け橋期」の教育を実践し
一人ひとりの育ちを支える

滋賀県副知事 大杉住子

6 自治体の取り組み事例

多様な園や学校が共有・協働するしくみを整え
育ちと学びをつなぐ

神奈川県横浜市こども青少年局

10 小学校の取り組み事例

幼児期の体験をベースに一人ひとりが自己を発揮し
「自ら育つ」学校へ

横浜市立恩田小学校（神奈川県）

14 参考資料

「子ども」について語り、つながる！
園・小学校の対話の3ステップ

データ紹介

16 アジア8か国の調査から見てきた
「ハッピー&レジリエント」な子どもをどう育むか

チャイルド・リサーチ・ネット所長 榊原洋一

18 「第6回幼児の生活アンケート」（2022年3月実施）より
個々の家庭の状況を受け止め、子育ての喜びを味わえる
子育て支援・保護者支援の充実を

東京家政大学大学院客員教授 佐藤暁子

本誌をお手に取っていただき、ありがとうございます。

今号の特集は、本誌読者アンケートでも関心が高かった「幼保小接続」です。園と小学校が、ともに子どもの連続した育ちと学びを支え続けていくための「しくみ」づくりの重要性和、そこで積み重ねられている取り組みについて取材しました。園でご検討をする際のヒントの一端となれば幸いです。

「これからの幼児教育」編集部

STAFF

編集発行人／西村俊彦 発行所／(株)ベネッセコーポレーション
印刷製本／凸版印刷(株) 監修／北野幸子(神戸大学大学院教授)
企画・制作／仙田由紀子(ベネッセ教育総合研究所)
編集協力／(有)ペンダコ、丹羽三千代、菊池健(mananico)、神田有希子
執筆協力／二宮良太
表紙＋特集扉デザイン・イラスト協力／へんな優

※本文中のプロフィールはすべて取材時のものです。

また、敬称略とさせていただきます。

※本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製及び転載を禁じます。

©Benesse Corporation 2022





「しくみ」で積み上げ、 質を高める 幼保小接続

幼保小の架け橋プログラムでは、子どもにかかわる大人が立場を越えて連携することで、架け橋期にふさわしい「主体的・対話的で深い学び」を実現し、一人ひとりの多様性に配慮しながらすべての子どもに学びや生活の基盤を育むことをめざしています。とはいえ、多様な地域、園・小学校がある現状では、そうした目的に対して、先生方の意識の面や、実際のしくみづくりの面などにそれぞれの課題があり、今後の展開への模索が続いているようです。

今号では、架け橋プログラムの策定にかかわった方、架け橋プログラムをもとに先進的な取り組みを行っている自治体、小学校など、園以外の立場からのお話を紹介しながら、各園における接続の次の一手を考えていきます。